

ひだまり

第20版

令和7年 2月号

公立八鹿病院 緩和ケア病棟



冬真っ只中となり、大雪が心配な毎日ですね。寒さから体調を崩しやすい季節です。暖かくして栄養、睡眠をしっかりとり元気にこの冬を乗り越えたいですね。今回は遺族会とクリスマス会についてご紹介したいと思います。



5年ぶりに遺族会(ひだまりの会)を開催しました

今年度は、5年ぶりに遺族会を開催することができました。患者さんとの思い出のある庭園で、それぞれの思い出を懐かしむ時間を持ってもらえたらと思い、今回初めて11病棟の庭園の花の苗植えなどを遺族の皆様と一緒におこないました。10月15日と、10月29日の2回に分けて開催しましたが、両日とも天候に恵まれ、無事、遺族会を行うことができました。



ご遺族の皆さまには、「とてもよかった」「また参加したい」「いい企画で嬉しかった」など、ありがたいお言葉をいただきました。参加した私たちスタッフも良い時間を過ごすことができ、スタッフ自身のグリーフケアにもつながる会となったように思います。



遺族会の様子はInstagramにも紹介されていますので、そちらも是非ご覧ください。



12月にクリスマス会をおこないました

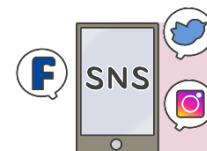


少し早めではありましたが、12月初めにクリスマス会をおこないました。赤鼻のトナカイを歌いながら、患者さんと職員で簡単なダンスをしたり、職員によるハンドベル演奏を聴いてもらいました。

クリスマス会が終わった後、患者さんのお部屋にサンタクロース（岸本医師）とトナカイ（看護師）がプレゼントを持って訪問しました。プレゼントは、患者さんの写真が入った手作りフォトフレームと、クリスマスデザート（ゼリー）でした。「ありがとう」「よう写っとるわ」と皆さん喜んでいただけたようでした。私たちも患者さんの笑顔を見ることができ、とても楽しい時間となりました。



Instagram フェイスブック



Facebook、Instagramにも動画付きで紹介されていますので、是非ご覧ください



編集後記

今号が今年度最後のひだまりの発行となりました。皆さま一年間お読みいただきどうもありがとうございました。

インフルエンザ、コロナが非常に猛威を振るっています。まだまだ寒さも続きますので、体調には十分気をつけてお過ごしいただきながら、暖かい春の訪れを待ちましょう。

（編集委員）